

TextReader クラスの API

TextWriter は、生成時にテキストファイルをすべて読み込んでいるので、ヒープメモリを消費します。テキストファイルは、総じてサイズが小さいのが普通ですから、実用上は問題ありませんが、巨大なテキストファイルを扱う時は、使わない方がいいでしょう。

なお、本文には書きませんが、size()、sort()、rewind()などの機能もあります。

TextReader クラス

コンストラクタ	機 能
public TextReader(String filename)	ファイルを指定する
public TextReader(String filename, String charset)	入力文字コードを指定する
public TextReader(Path path)	Path でファイルを指定する
public TextReader(Path path, String charset)	入力文字コードを指定する

インスタンス メソッド	機 能
public static void setDefalutCharset	デフォルトの入力文字コードを設定する
public static String getDefalutCharset	デフォルトの入力文字コードを取得する
public String readLine()	1 行分のテキストを読み出す。テキストの末尾に改行記号はない。ファイルの終端を超えて実行した時は null を返す
public String[] readCsv()	1 行分の CSV データを読み出して、String の配列にして返す
public List<String> readAllLines()	ファイルの全行をリストに入れて返す
public int size()	ファイルの全行数を返す
public void sort()	ファイルの行データを昇順に並べる
pubilc void rewind()	読み出し位置を先頭に戻す
public void close()	ファイルを閉じる（入力バッファを開放する）